

平成 30 年度 ひきこもりに関する講演会 アンケート結果報告

【日時】平成 30 年 6 月 30 日（土） 午後 2 時から午後 4 時まで

【場所】関戸公民館 大会議室

【テーマ】「ひきこもりからの脱出に必要なこと」

【結果】回収数 35 / 参加者 43 名（回収率 77%）

1. 参加者属性

講演会の参加者は、68.6%(24 人)が「ひきこもり当事者の家族」である。

ひきこもり当事者の家族	24	68.6%
身近にひきこもり当事者がいる方	2	5.7%
ひきこもり当事者	1	2.9%
行政職員	1	2.9%
支援者	4	11.4%
その他	3	8.6%
不明	0	0.0%

内訳

ひきこもり当事者の家族内訳

前回の講演会では「母」の割合が 70%を占めていたが、今回はひきこもり当事者の家族のうち、45.8%（11 人）が「父」が占め最多であった。

父	11	45.8%
母	10	41.7%
兄又は姉	2	8.3%
弟又は妹	0	0.0%
祖父	0	0.0%
祖母	0	0.0%
叔母・叔父	1	4.2%
不明	0	0.0%

支援者内訳

民生委員	1
支援団体	1
その他	0
不明	2

2 ひきこもり当事者について

本設問は、「ひきこもり当事者の家族」又は「ひきこもり当事者（本人）」を対象とする設問（対象者数 25 名）であるが、参加者属性が「ひきこもりのご本人」・「家族」以外の方が回答しているため、回答総数が 30 となっている。以下、「現在受けられている支援の状況」まで同様

年齢 20 代と 40 代以上が 8 人（26.7%）と最多である。

14 歳以下	1	3.3%
10 代(15 歳以上)	3	10.0%
20 代	8	26.7%
30 代	7	23.3%
40 歳以上	8	26.7%
不明	3	10.0%

性別 60.0%（18 人）が男性である。

男性	18	60.0%
女性	6	20.0%
不明	6	20.0%

現在の状況 「就労中でも求職活動中でもない」が 56.7%（17 人）を占め最多である。

在学中	3	10.0%
就労中	0	0.0%
求職活動中	3	10.0%
就労中でも求職活動中でもない	17	56.7%
その他	2	6.7%
不明	5	16.7%

その他

- ・就労するも退職し、ひきこもり状態
- ・精神科に通院

学校や仕事から離れてからの期間

前年の講演会では「6年以上」「6ヶ月～1年」の割合が最も高かった（それぞれ全体の24%を占めていた）が、今回の講演会では「1年～3年」（9人）と30.0%を占め最多であった。

6ヶ月未満	5	16.7%
6ヶ月～1年	2	6.7%
1年～3年	9	30.0%
3年～6年	3	10.0%
6年以上	7	23.3%
不明	4	13.3%

現在受けられている支援の状況

- ・「一度も受けたことがない」が60.0%（18人）を占め最多である。次に多いのは、「過去に支援を受けていたことがあるが現在は受けていない」で10.0%（3人）を占めている。
- ・「一度も受けたことがない」と「過去に支援を受けていたことがあるが現在は受けていない」を合わせると、70.0%（21人）が現在支援を受けていない状況にある。

一度も支援を受けたことがない	18	60.0%
過去に支援を受けたことがあるが現在は受けていない	3	10.0%
時々支援を受けている	2	6.7%
定期的に支援を受けている	2	6.7%
その他	0	0.0%
不明	5	16.7%

支援を受けている機関（複数回答）

現在支援を受けている方のみ回答

地域若者サポートステーション	1	25.0%
ハローワーク	0	0.0%
病院	2	50.0%
保健所	0	0.0%
民間の相談機関	1	25.0%
市区町村の相談窓口	0	0.0%
多摩総合精神保健福祉センター	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%

3 今後必要と感じる支援（複数回答）

今後必要と感じる支援は、「個別相談」が29.3%を占め最多である。「訪問相談」が次に多く、25.9%を占めている。

個別相談	17	29.3%
訪問相談	15	25.9%
就学支援	2	3.4%
就労支援	11	19.0%
家族会	2	3.4%
家族向けセミナー	3	5.2%
当事者の居場所	8	13.8%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%

4 講演会を知ったきっかけ

講演会を知ったきっかけは、「たま広報」が41.7%（15人）を占め最多である。次に多いのは、「公共施設のチラシ」（22.2%・8人）である。

たま広報	15	41.7%
自治会等の回覧	3	8.3%
掲示板	1	2.8%
市ホームページ	1	2.8%
公共施設のチラシ	8	22.2%
地域や周囲の方から聞いた	0	0.0%
その他	6	16.7%
不明	2	5.6%

- その他
- ・もしもし新聞
 - ・夢うさぎの掲示板
 - ・職場
 - ・妻

5 講演会の感想・今後の講演会への要望など（自由記入）

大変参考になりました。具体的に何をするのか少し分かったので希望が持てました。
大変参考になりました。ありがとうございました。

他市から 45 分かけて参りました。企画していただきありがとうございます。具体例含めまして、もう少し長くお話しを伺いたかったです。

河野氏の話は現場経験、実例が聴けた事が良かったです。実体験、実例が当事者としては最も知りたい。こういった機会はどんどん作ってほしい。ただし、市の職員の話は不要。なぜ課長や部長の話が必要だったのか。勿論、自治体の生活支援施策の一環としては重要だが、なぜ講演中も前の席で座っている必要があるのか。他の仕事でもやっている方が税の無駄にならないと思う。冒頭の話で、経験のない職員が「ひきこもりはすぐ5年経つ」と笑いながらしたり顔で語ったのは極めて不快であった。家族の感情を考えていただきたい。

事例を伺って社会性が育たないデメリットと難しさがよく理解できました。支援の大変さに頭が下がります。ありがとうございました。

大切なイベントだと思います。

就学期間が終了した後のひきこもりへの対応や、ひきこもりの本質的な問題が共依存関係にあることを知り勉強になりました。利用できる支援があることがわかり、少し安心しました。

ひきこもりの支援、現状、特に訪問支援の必要性等理解することができた。現実はいろいろ難しい問題があるようだが改善されている様子が見受けられ、今後の活動のためさらに理解を深めたいと感じた。

何から始めたらよいか。困りながらも(知識?)不足とともに手足が出ない状況です。情報をいただきたく参加させていただきました。

具体的で分かりやすかった。

14 歳以下のための講演会も行ってほしい。

お話の内容がよく理解できました。ひきこもりが3年以上(心療内科で処方されて薬を飲んでいる)となり、今後どうしていけばいいのか途方にくれていたのもまずは個別相談に応募していきたいと考えるようになりました。ありがとうございました。

就労の為本人がすること。(支援機関に助けをもらわずに)一人でするのは無理でしょうか。今までいくつかの支援機関に行ったのですが、とてもいやな思いをしてしまったので。

父と母2名で参加しました。40代50代のひきこもりの話を聞き大変参考になりました。

友人のお孫さんがひきこもりでいつも愚痴を聞いています。今日は彼女の都合が悪く代わりきました。早速情報を流します。相談にも行くようにすすめます。ありがとうございました。

40歳以上のひきこもりの支援についての講演会を希望します。

ひきこもっている当事者の対応が分からず、相談するところも分からない状態で今までできてしましましたが、少しずつ考えていかなければならないことなので、今日の講演会は来てよかったです。

良い講演でした。今年こそは支援を受けることを考えたいと思います。

大変参考になりました。親戚に2人もひきこもりがいてどうしようかと思っています。少しずつですが、動いてみようという気になりました。Q & Aでマイク替えていただいききやすくなりました。（ストレスで突発性難聴になりよく聞こえないのです）